

平成 28 年 2 月 5 日

**公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク
運営委員会議事録（2 月期）**

【出席者】（敬称略）

濱田、石橋、石丸、沖津、片桐、木村、葉木、坂内、森、岡部、古池、澤野委員長、事務局天寺
森村アドバイザー

1. 濱田代表理事 挨拶

朝 7 時 41 分頃神奈川東部を震源とする M4.6 の地震が発生。自宅ですぐにシェイクアウト！
緊急地震速報は地震と同じタイミングで鳴った。地震はいつ来てもおかしくないので備えをし
っかりしておきましょう。

2. 推進委員会澤野委員長 委員会報告

別添資料「事業報告と今後の予定」のとおり。

3. 公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワークからの報告

別添資料「運営委員会 議事」のとおり。

▶ 次期運営委員の紹介：神奈川県枠 = 濱田政宏、石丸吉彦 千葉県枠 = 片桐卓、古池佳子
東京都枠・埼玉県枠 = 今の所なし。運営委員会推薦枠 = 岡部英雄（流山）沖津敬（横浜）
専門部会 = 葉木洋一（福祉）、木村孝（情報）、森清一（秦野） 以上 9 名

▶ 理事会報告

- ・ 理事候補者：濱田政宏、片桐卓、古池佳子、森清一、天寺純香の 5 名を候補者とし、立
候補届の提出があった。
- ・ 監事：成瀬久男（佐倉）から退任の申し出があったため、後任を千葉県で調整している。

▶ その他

- ・ SL 講座の際に、各ネット代表者の氏名・携帯・E-mail を一覧で掲載して欲しい（葉木）。
講座修了者からネット活動に参加したい SL の窓口となることで委員の了解を得た。

4. 各地域の活動報告

<千葉県>

▶ 県ネット・船橋ネット（片桐）

- ・ 1/23 千葉県ネット活動報告会。深味さんが会長を退任し、後任に坂内さんが就任。また
公益社団に伴い、千葉県ネットの会則を改定した。
- ・ 29 日船橋市での初の DIG。
- ・ 30 日防災フェアを実施。鍵屋一氏の講義
- ・ 2/18 防災会議 地域防災計画の改定
- ・ 千葉県災害 VC 連絡会にて県災害 VC マニュアル策定検討作業部会

▶ 千葉中央ネット（坂内）：添付資料参照。

- ・ 1 月 30 日自主事業「大規模災害に備える集い」の中で非常用炊飯袋の体験試食会を実施。
大変好評でやってよかった。

▶ 印旛ネット（石橋）

- ・ 11 自治体の避難所運営開設・運営マニュアル策定会議。1/24 第 1 回勉強会。避難所運営
マニュアルは古いマニュアルで災害要援護者関連の記載が薄い。2/14 開設訓練に参加。

- ▶ 流山野田ネット（岡部）
 - ・ H25 6月から地区防災計画の策定の打診があり、流山3丁目自治会にて作り、1/25に自治会への説明会を実施した。文章よりもイラストがよい。
 - ・ 流山社協で災害Vリーダー講習を実施した。SL3名が参加。今後流山市でもボランティアのメンバーが増えていくことを期待している。
- ▶ 市浦ネット（木村）：
 - ・ 1/24 ネット会合を開催。すこしづつ勉強会をやっていくことになった。次回はHUGを実施予定。

<神奈川>

- ▶ 神奈川県（森）
 - ・ 2/1 県ネット活動報告会を開催。22名参加。7つのうち西湘、湘南、横浜の各ネットが発足。県央ネットは調整中。濱田、石丸が運営委員に。
 - ・ 3/16 県立新城高校でDIGを行う予定。対象は生徒300名。
 - ・ 3/11 県立四季の森公園で防災フェアを予定。SL活動者を募集中。内容は三角テント、発電機、ガラス飛散防止、などを実施予定。
 - ・ 5/14 横浜市民防災センターかながわ・よこはま防災ギャザリングを開催予定。区役所、消防署、市民防災センターが協力。スタッフの6~7割がSLメンバーで活躍している。
 - ・ KSVNが県社協と組んで西湘・県央・湘南・政令指定都市のブロックと協力して災害VCの図上訓練を実施している。1/31に県央ブロックで実施した。災害VCで起こる困りごとについて検討してもらった。7市1町1村に災害VNがある。地元の災害NVと社協をつなげていければよいと考えて実施している。
- ▶ 座間市（濱田）
 - ・ 1/18~21 防災カフェ市民600名参加。また、防災カフェを地域に出て行って、街角防災カフェを企画。こちらから地域へ出向いて行って防災カフェを開催している。
 - ・ 1/25 座間中学校にて災害用炊出袋を体験。やり方を伝えて、自分たちで実施する
 - ・ 1/23 ざまシェイクアウト訓練実施。今年は土曜なので参加数が気になったが、最終的に52906名。座間市はプラスワン訓練を実施。フルスケール訓練：行政を巻き込んだ形の訓練を実施。警戒宣言が出された想定で、参集訓練を実施。市内の教職員300人が参加。49項目の訓練を自分たちが想定した形の訓練を実施しながら参集する。
 - ・ 2/3 川崎市高津市公民館からの講演依頼。座間の露木SLに依頼。座間メンバーが支援。
 - ・ 2/7・14・21 災害VC訓練を予定。市内で被害を受けた人の家を被害を受けていない人が支援する旨を伝えて行きたい。隣人の支援であっても災害VCを通して活動することで、ボランティア保険の適用になる。
- ▶ 藤沢市（葉木）
 - ・ 湘南ネットに参加する人が少ないので、SLの掘り起こしを少しずつ進めていきたい。
 - ・ 地元では「東京防災」に関心があるひとが多い。現在は売り切れになっているので、再販したら大量購入したい。
 - ・ 災害VC運営について福祉総務課が窓口で立ち上げる。藤沢市災害VNがあるが、地元の団体で市民センターに加盟している団体が連絡会を設けていく方がよい。

▶ 横浜市（沖津）添付資料参照のこと

- ・ 2/1 活動報告会の後、懇親会を開催。来年度の事業計画を相談した。戸塚防災フェアに参加することで賛同。2/16 役員会で改めて検討する。

5. 各部会の活動報告

- ▶ 福祉部会...新年会
- ▶ 情報部会...バイク隊関東・神谷 SL の活動報告
- ▶ 応急部会...なし

【次回の開催日】 3月4日（金）13時30分～

2016年1月の事業報告と今後の予定

(2月5日/災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野次郎)

1、防災とボランティアをめぐる情勢

1-1 社会全体(危機管理を中心に)

- ・ 1/6 北朝鮮「水爆」実験声明
- ・ 1/28 甘利経産相、現金受取で辞任
- ・ 1/29 高浜原発3号機再稼働

1-2 災害,大規模事故分野

[国内] ア 地震(気象庁発表で震度5強以上, M6.5以上、首都圏は震度4以上)

- ・ 1/14 震源 北海道浦河沖 M6.7、深さ52km、震度5弱 函館市他
- ・ 2/5 震源 神奈川県東部 M4.6、深さ30km、震度4 町田市

イ 火山

ウ 風水害

- ・ 1/12 気象庁 エルニーニョ監視速報 最盛期過ぎる
- ・ 「1月17日からの急速に発達する低気圧に伴う大雪等の被害状況」
1/18 東京での「新規則」にもとづく交通機関の混乱
- ・ 「1月23日からの大雪等による被害状況」死者6名
観測史上 奄美大島 115年ぶり雪、沖縄本島初雪、長崎 17cm最多

オ 事故等

- ・ 1/15 軽井沢スキーバス事故 14人死亡 犀川スキーバス転落事故 1985.1.28

[海外] ア 地震(USGC発表、M7.5以上又は報道等で犠牲者多数)

イ 自然災害

- ・ 1/24 米国北東部寒波 15州非常事態宣言、NY積雪約68cm、観測史上2位

ウ 事故等

1-3 防災行政等の動き

ア 政府

- ・ 内閣府 「防災4.0」未来構想プロジェクト(第2回)2/2
(1.0 伊勢湾台風 2.0 阪神大震災 3.0 東日本大震災 4.0 気候変動災害)

イ 自治体

ウ 被災地状況

- ・ 避難・転居者数(復興庁発表) 17万7866人 前月比 - 4134人 1/14現在

1-4 災害ボランティア等の動き

- ・ [情報]災害時の連携を考える全国フォーラム 2/12-13
主催: 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)準備会
- ・ [情報]防災とボランティアの集い 2/20
主催: 内閣府 3.11との合同化が進み、1.17が形骸化。

1-5 注目すべきメディアと書籍等

- ・ TV [NHKスペシャル]

2、この間の主な活動と今後の予定

2-1 基盤としての総合的な災害ボランティア活動

A、災害ボランティアリーダー養成事業

ア 全体的な到達点

本部講座 8,995 人 公認講座 1,860 人* 計 10,855 人 1/7 現在

講座開催と受講生確保の困難に直面 打開に向けた方策を

イ 本部主催のSL養成事業

・[募集]立教大学講座 2/26-27 3/5 定員超

ウ 大学等受託のSL養成事業

エ 災害ボランティアリーダー等養成事業

JBU パワーバンク講座

・[報告]中コース 岐阜下呂 1/22-23

・[報告]西コース 熊本玉名 1/29-30

B、防災/減災啓発推進事業

ア 本部等主催の防災啓発推進事業

・[報告]首都直下地震大学生の集い 1/28

イ 本部受託の事業

ウ 他主催の事業への協力

・[予定]三陸鉄道 望月社長講演 2/25 立教大学 主催 社会デザイン学会、立教大学

エ 他主催の事業情報

・[情報]首都直下地震防災啓発イベント 主催 気象庁 2/14

「いまこそ知りたい私たちに必要なソナエ」

・[情報]防災士 10 万人記念大会 3/1

講演 片田教授 「災害に向き合う力 ~釜石の奇跡に学ぶ~」

C、各地域の災害ボランティア活動報告

2-2 総合的な防災事業

A、シェイクアウト事業(防災訓練事業)

ア 全体的な到達点 2015 年 累計約 521 万人、世界で 4400 万人

イ 特徴 参加者数 定常人口比

1/14 神戸 289,845 18.7%

1/23 座間 52,906 40.8% 初の土曜日開催

2/2 水戸 153,077 56.9% 定常人口比 1 位

B、防災教育推進事業

ア 防災教育チャレンジプラン(内閣府共催)事業

・[予定]2/20 最終報告会 主催 内閣府 専修大学 大賞選考

イ 防災教育普及事業

・[宣伝]「防災教育の手引き」頒布中

・[報告]1/22 防災教育を中心とした学校安全フォーラム 宮城県岩沼市

・[予定]2/12 全国学校安全教育研究大会 武蔵野市立本宿小学校

ウ 学校・団体等防災教育推進事業

- ・ [各地]学校での防災教育支援

C、被災者生活再建支援事業

- ・ [報告]システム導入自治体のフォローアップ研修

D、防災研究事業（林春男教授関係）

- ・ [報告]都市減災サブプロ全体 WS 1/21-22 神戸
- ・ [予定]都市減災サブプロ第四回成果発表会 2/29 東京
- ・ [予定]都市総合防災研究会第一回研究会 3/3
 - 「2つの巨大災害の対応を生き抜いた同志に学ぶ」
 - ～ 2011 東日本大震災の戦友 VS 1995 阪神・淡路大震災の仲間～

以上

公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク

運営委員会 議事

【理事会報告事項】

1. 次期運営委員の件（2016年2月～2018年2月 任期2年）
 - 千葉県枠：片桐卓（船橋市） 古池佳子（柏市）
 - 神奈川県枠：石丸吉彦（秦野市） 濱田政宏（座間市）
 - 運営委員会推薦枠：岡部英雄（流山） _____ ...本部推薦のこと
 - 専門部会枠：葉木洋一（福祉） 木村孝（情報） 森清一（応急）
 - 埼玉県枠：未定
 - 今期でご退任される委員：坂内美佐子（市原市/本部推薦） 石橋保英（印西/千葉県枠）
松永昭（東京都）

2. 役員選挙の件（理事および本部運営委員の選出までの流れ）
 - 第3回総会では、任期満了に伴う理事の改選がある。
 - 現理事：濱田政宏（代表理事） 天寺純香（常務理事）
片桐卓（理事） 森清一（理事） 坂内美佐子（理事）

次期理事候補者：

次期理事候補者は、役員選挙規程に基づき、2月26日までに理事候補者届を添付して選挙管理委員会に提出の事。 3月5日の運営委員会で選挙管理委員会を開催し、理事候補者一覧を作成・確認する。

3. 次回運営委員会
2016年3月4日（金）13時30分～

以上